

# 平成30年矢巾町議会定例会9月会議

## 一般質問議員と質問事項一覧表

受付順	質問議員	質問事項	答弁者
1	7番 昆 秀一	1. いじめの防止策について	教育長
		2. 社会資源の活用について	町長・教育長
		3. 町民の幸福の向上について	町長
		4. ICT等の活用による取り組みについて	町長・教育長
2	6番 村松 信一	1. ごみ減量の推進について	町長
		2. 矢巾型農業の確立について	町長
3	15番 藤原 由巳	1. 新たな米政策元年の本町農業政策について	町長
		2. 医大附属病院開院に向けての対応について	町長
		3. 町政課題の確認とその進捗状況について	町長
4	1番 赤丸 秀雄	1. 町人口増加に向けた取り組みについて	町長
		2. 義務教育環境における現状と課題について	教育長
		3. 町内公共交通網の整備方針について	町長
5	10番 山崎 道夫	1. 通称「盛岡西バイパス」延伸ルート決定に向けた本町の取り組みについて	町長
		2. 小中学校の全教室に冷房設備の早期設置について	教育長
		3. 自治公民館への冷房設備設置に向けた補助金交付事業の検討について	町長
6	14番 小川 文子	1. 保育士の待遇改善について	町長
		2. 町営住宅の改修について	町長
		3. 子どもの医療費助成18歳まで拡大を	町長
		4. デマンドタクシーについて	町長
7	13番 川村 よし子	1. 介護保険制度について	町長
		2. 国民健康保険税の引き下げについて	町長
		3. 農業について	町長・教育長
8	8番 藤原 梅昭	1. 「安全安心」なまちづくりについて	町長・教育長
		2. 「農林業振興」について	町長・農業委員会会長
計	8名	24件	町長 21件 教育長 7件 農業委員会会長 1件

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. <u>1</u>	平成30年8月22日	午前・ <del>午後</del> 9 時00分
議席番号 <u>7</u> 番	昆 秀 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) いじめの防止策について (答弁者) 教育長</p> <p>3年前の忘れることのできない悲しい出来事以来、当時学校に在学していた生徒は卒業し、教職員も異動となり、ほとんどがその当時の出来事を知る人が学校にはいなくなっている。しかし、あの出来事については決して忘れずに、二度と起きないようにする対策を引き続き行っていかなくてはならない。そこで、以下伺う。</p> <p>① 現在の町内学校の不登校やいじめの実態をどのように捉えて、その対策を講じているのか。</p> <p>② 教育委員会議・総合教育会議などでは、いじめ問題についてどのような話し合いが持たれ、その役割を果たしてきているのか。</p> <p>③ いじめ防止対策に関する条例が制定されたことによる効果は。</p> <p>④ インターネットを通じて行われるいじめや事件などの状況と対策は。</p> <p>⑤ 3年前の出来事を風化させないための取り組みをどう行っているのか。</p> <p>⑥ 3年前当時その学校に在籍していて不登校となっていた生徒たちのその後についての状況と支援は行われているのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 社会資源の活用について (答 弁 者) 町長・教育長</p> <p>介護保険制度や障害者総合支援法などでは、病院や施設から地域へ生活するような施策に重点が移行してきている。だが、ただ地域に移行するだけでは問題の解決にはならない。そこで、住民ニーズの解決のためにはさまざまな社会資源が必要になってくることから、本町の社会資源についての今後の方向性ほかを以下伺う。</p> <p>① この地域の社会資源の必要性をどう考えて、育成や創出を行ってきているのか。 ② 町と町社会福祉協議会やほかの社会資源の供給機関との連携をどう取ってきているのか。 ③ インフォーマルな社会資源を活用する上での視点についての考え方は。 ④ インフォーマルな社会資源に対する支援と調整をどう行っているのか。 ⑤ ボランティアの育成について、学校教育や社会教育をどう行っているのか。 ⑥ 今後の社会資源の活用をどう考えるのか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 町民の幸福の向上について (答 弁 者) 町 長</p> <p>岩手県の次期総合計画では、幸福をキーワードに岩手の将来像を描いていくとしている。県では、そのような幸福についての考え方を持っているようだが、本町としては、この幸福度というものをどのようにまちづくりに取り入れていくつもりなのか、その見解を以下伺う。</p> <p>① 県の未来の幸福に向けての取り組みを受けて、町の役割をどう考えるのか。</p>

	<p>② 現在の町民の幸福度をどう把握しているのか。</p> <p>③ 次期矢巾町総合計画後期基本計画に幸福度指標を取り入れるべきと考えるがどうか。</p> <p>④ 町民の全体的な生活の質の向上が幸福度の向上にもつながることから、町民の生活の質の向上をどう目指すのか。</p> <p>⑤ 人や社会の幸福はまちづくりの中心となるものであると考えるが、それを見失ってしまわないために、幸福のまちづくり条例を制定し、しっかりとした理念を抱き町内外に示してはどうか。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) ICT等の活用による取り組みについて (答 弁 者) 町長・教育長</p> <p>近年、特にICTやIoT、AI、RPAなどの活用により、行政運営の効率化や住民サービスの向上が進んでいる。今後は、さらにそれらの活用が進められていくことが考えられる。そこで、本町のこれからのICT等の活用に対する取り組みについての見解を伺う。</p> <p>① 現在、ICT等をどのように町として活用しているのか、その状況を伺う。</p> <p>② 今後のICT等について、どのように活用していこうとしているのか。総合計画での位置付けが明確ではないように感じるが、町としてのICT等の将来の位置付けは。</p> <p>③ 今後、ICT等を推進するにあたって、実施していくための計画として町情報化計画を策定して検討していく必要性を感じるがいかがか。</p> <p>④ 学校教育や社会教育におけるICT等の活用状況と今後の活用については。</p> <p>⑤ 農業や介護などの各産業へのICT等の活用や普及の取り組みは。</p> <p>⑥ ICT等の活用に関する課題についての捉え方は。</p> <p>⑦ 一般社団法人いわてドローン操縦士協会との協定の内容と、ICT等の活用策は。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. <u>2</u>	平成30年8月22日	午前・ <del>午後</del> 9時00分
議席番号 <u>6</u> 番	村松 信 一	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) ごみ減量の推進について (答弁者) 町長</p> <p>高橋町長は就任以降、13項目の政策を掲げ町政運営に誠意取り組まれておりますが、政策項目に「ごみ減量化およびリサイクル化を徹底し、町ごみ処理負担金5%、約1,300万円の節減に取り組む」とあります。</p> <p>町長就任3年を経過した現在、ごみ減量推進並びに資源化の取り組み状況について伺います。</p> <p>① 町長就任後3年間の家庭系・事業系の燃えるごみの収集状況について、平成26年度末と平成29年度末を比べると、家庭系ごみは微増、事業系ごみは13.3%の減少、総計では6.4%の減少であった。しかし、町ごみ処理負担金は20%上昇している。この現状についてどう捉えているか。</p> <p>② 平成29年度末の家庭系ごみの町民一人当たりの排出量は、平成26年度末と比べ1%減とほとんど減っていない。家庭系ごみを減らすための取り組みはどのようなものになっているのか。</p> <p>③ 生ごみの水切りが、ごみの減量化と発酵速度上昇による堆肥の良質化につながる。この取り組みについて、一般家庭に対しどのような周知徹底を図られたか。</p> <p>④ ペットボトルの資源回収について、収集業者が取り扱わないケースが多く、行政区による交渉では限度がある。町から収集業者に補助金等を出して回収するよう働きかけ</p>

る等、検討・協議することが必要と思うがどうか。

- ⑤ 「その他紙」「雑がみ」は分別されず燃えるごみに出されてしまうことが多いのが現状だと思うが、分別促進・行政区による資源回収への組み込みなど、減量化に向け町として今後の取り組みの考えはどうか。
- ⑥ 資源回収コンクールの上位入賞組織は、多くの努力・工夫により成果を上げたと思うが、上位入賞組織の取り組み事例を他組織にどう紹介しているのか。
- ⑦ 資源回収を行っていない行政区はあるのか。資源回収を行っていない行政区がある場合、その理由は何か。
- ⑧ ごみ減量推進委員の名称について盛岡市は「盛岡市きれいなまち推進員」であり、本町での名称など検討の余地があるのではないか。
- ⑨ 小型家電回収について、町内5カ所にボックスを設置し、2020年東京オリンピックのメダル用として希少金属を回収しているが、周知徹底が不足しているのではないか。このような取り組みは今後の資源回収の啓蒙にもつながることから、回収について周知の強化を図るべきではないか。

データ漏洩リスクについて十分に対策し、安全性を強調することも回収促進につながるのではないか。
- ⑩ スーパー等の民間企業が紙類の資源回収にポイント制を導入し、買い物ついでに持参できる利便性が受け入れられ大きな成果を上げているが、こうした企業と協力していくことが必要と思うがどうか。

質問 2

(質問事項) 矢中型農業の確立について

(答弁者) 町 長

町の東部平坦部では、早くは1599年に開削された鹿妻穴堰の恩恵を受け水田の開発も進み安定した稲作農業が行われていましたが、西部台地の地域は水不足のため早害と水争い常習地帯でありました。そこで、水不足を解消し地方農業の振興を図るため、1927年、白沢在住の3名が各方面の理解と援助を懇請し、鹿妻新線水路を開削して新たに760haに及ぶ水田の開発がなされました。以降各種圃場整備事業等により、農地が良好な状態で維持・保全され、水田2,423ha、畑391haはその多くが良好な営農条件を備えた優良農地として、現在まで安定した農業生産をして参りました。

このように恵まれた農地を持つ本町は、町長の施政方針でも標榜の通り、本町の基幹産業は農業であり農業が元気でなければならぬとして、各種農業支援策に取り組んでいただいております。

食生活の洋風化・多様化や人口減少、高齢化等により米消費量が減少する中、優良農地の有効活用を図るため、更なる施策が必要と考え、以下伺います。

- ① 全国的に煮物等からサラダへと野菜消費の内容が変化していることから、町内における野菜栽培についてサラダ系野菜を推奨し、町内における野菜の更なる消費拡大を図ってはどうか。

新規に取り組みやすいズッキーニもその一つと考えられるが、ズッキーニを使ったサラダを考案し給食にも取り入れるなど、町内での消費拡大を図ってはどうか。

- ② 町長は施政方針演述の中で農業用機械・施設の導入についての支援を表明しているが、具体的な施策はどうなっているか。

現在の農地を野菜栽培に適したものにするためには、フォアシステム(地下水水位制御システム)が最適であると思うが、整備には多額の資金が必要のため、支援の対象とす

る考えはあるか。

- ③ 昨年度、国が加工・業務用野菜生産基盤強化事業を始めたが、周知が短期間だったこともあり本町では未導入となった。前項のフォアシステム導入に利用することもできるが、来年度に向けた取り組みに対し関係者への周知はどのようなになっているか。
- ④ 農業の人手不足解消と障がい者の就労先確保のための「農」と「福祉」の連携（農福連携）の考えは、現在どこまで進んでいるか。例えば、受け入れ協力事業者への支援策等は考えられないか。



# 一 般 質 問 通 告 書

矢巾町議会議長 廣 田 光 男 殿

受付 No. 3	平成30年8月22日	午前・ <del>午後</del> 9 時20分
議席番号15番	藤 原 由 巳	

番 号	質 問 要 旨
質問1	<p>(質問事項) 新たな米政策元年の本町農業政策について (答弁者) 町 長</p> <p>長年我が国の、そして本町の発展の根幹とも言われた米政策が大転換され、この春よりスタートしました。この事をふまえた中で、今年度の本町の農業政策と高齢化の進む今後の農業振興施策について、以下伺います。</p> <p>① 今年度の主食用米の栽培面積は目標面積に対してどのような数値となっているか。また、その中でのモチ米、うるち米の面積と、うるち米での「銀河のしずく」の面積は。併せて、米全体の出荷袋数とその販売見込み額は。</p> <p>② 生産調整の総面積と、作物別面積上位5品目までの作物内容はどうか。併せて、この5品目の販売見込み額をどのように捉えているか。また、この5品目への奨励金の状況はどのようになっているか、併せて伺う。</p> <p>③ 水田転作物以外の農産物の栽培状況について、どう捉えているか。果樹や菌茸類等、主な品目の栽培状況と年間販売見込み額をどのように捉えているか伺う。</p> <p>④ 法人化対策に取り組んで久しいが、全国的には農業者の平均年齢が68歳代とも言われている中、本町農業の現状と課題をどう捉え、併せて、法人構成員の高齢化等による後継者対策を含めた法人組織の合併と適正規模拡大対策が不可欠であると考えるが、町としての見解を伺う。</p> <p>⑤ 岩手県内一の大消費地、盛岡広域圏内として位置づけさ</p>

	<p>れている矢巾町農業をどう捉え、町周辺部の優良農地を活用し、米プラス園芸特産物の生産拡大と6次産業化の更なる推進により、若年層から熟年層までが夢を持てる矢巾町農業の将来展望をどう描く考えなのか伺う。</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 医大附属病院開院に向けての対応について (答弁者) 町 長</p> <p>町民はもとより、県内外の多くの方々が待望している岩手医科大学附属病院の2019年9月21日の移転開院まで1年と迫ってきました。本町においても、総合移転決定から現在までこの移転に対応すべく多くの事業に取り組んできておりますが、開院に向けての対応やその後の課題等も考えられることから以下伺います。</p> <p>① 現病院からの新矢巾病院への大規模な搬送計画について、本町の協力体制と周辺住民への周知対応策を伺う。</p> <p>② 上下水道や道路等、本町が担うインフラ整備の進捗状況について伺う。併せて、ガスや電力、石油類等の供給対応についての情報はどう把握しているか。</p> <p>③ 医大附属病院敷地内に建設予定と聞いている「ホテル」「保育園」「ショッピングモール」等の建設計画はどのように進んでいるか伺う。併せて、ショッピングモールの建設計画について、本町の既存事業者への影響をどう捉えているか併せて伺う。</p> <p>④ 矢巾口から医大周辺への県道は、現在、朝夕かなりの交通渋滞が発生しており、開院後は周辺道路の更なる渋滞が予想される。時間的な交通規制等を含めた渋滞対策について、どのように検討されているのか伺う。</p> <p>⑤ 病院関係者や利用者を含めた交流人口が1日あたり5千人以上とも言われているが、防犯・防災対策はどのように講じられるか。併せて、周辺住民への周知対応も必要と考えるが、どのように進めていく考えか伺う。</p> <p>⑥ 医大の総合移転計画が示された段階から、町内農業関係</p>

	<p>者や議会から農産物の供給に向けての提言がなされてきたが、その後の経過と今後の見通しについて伺う。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 町政課題の確認とその進捗状況について (答弁者) 町長</p> <p>高橋町長も就任以来3年半が経過しました。その間におきましては、町民の幸せの為に多くの施策を執行して参りましてその成果も示されております。このような状況下ではあります。町民からはまだまだ多くの課題も提起されておりますことから、以下について伺います。</p> <p>① 就任1年後の平成28年度に機構改革を実行されたが、その評価をどう捉えているか。その中で特に町民からの期待の大きい産業振興課と企画財政課及び福祉・子ども課について、町長の構想通りの機能を発揮できているか、その評価を伺う。</p> <p>② 財政健全化に向け精力的に取り組んでおり、特に平成30年度は「まちづくり改革元年」と位置づけ、「持続可能なまちづくりや将来に向けた積極的な投資や先駆的な取り組みを進める」と施政方針にありました。今9月会議で示された平成29年度決算をふまえ、財政健全化に向けての所感を伺う。</p> <p>③ 町有地利活用について、多くの町民の声と議会での議論が交わされた旧矢巾中学校跡地の活用方針、長年塩漬状態と言われている不動地区の約3haの利活用、煙山地区のひまわり畑周辺の整備計画について、現状と今後の見通しについて伺う。</p> <p>④ 老朽化の進む矢巾、高田、風張住宅等の戸建町営住宅については、平成28年度において抜本的な利活用計画について議会から提言した経緯がある。特に、医大附属病院の隣に位置している矢巾住宅について、将来構想を含めてその後の検討経過を伺う。</p> <p>⑤ 高橋町長が一昨年以來各種会合等で表明してきている</p>

「イセファーム徳田農場」の移転計画が、ややトーンダウンしてきているとの情報があるが、町長が現段階で把握している情報と今後の町としての対応策を伺う。

- ⑥ 徳田橋架け替え工事が進められており、来年6月には橋脚部分の工事が完成と「徳田橋かわら版」でありました。その後、架け替え工事完工は5年後頃とも言われているが、その後の情報はいかがか伺う。また、工事完工後の経済効果向上に向け、北上川東側の盛岡市乙部、黒川地区との更なる交流活性化が不可欠であり、事前に交流活性化に向けた両市町での協議を進めるべきではと考えるが、町として将来に向けた考えを伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. <u>4</u>	平成30年8月23日	午前・ <del>午後</del> 10時10分
議席番号 <u>1</u> 番	赤丸秀雄	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 町人口増加に向けた取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>町では、岩手医大附属病院移転開業受け入れに向けて、道路整備を中心に各課題に誠意取り組んでいるところであります。その状況下で現在も人口が微増しており、開業後には人口増加が期待される今、積極的に受け入れ施策の展開を実施して町人口3万人の早期実現・確保に取り組むべきと考え、以下伺います。</p> <p>I 土地利用整備、特に住宅用地の確保について</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 2,500人以上の人口増加には、1,000区画の新たな土地が必要と思うが、その取り組みについて</li><li>② 土地購入費1,000万円以下で対応できる土地の整備について</li><li>③ 都市計画マスタープランの早期具現化について</li></ol> <p>II 子育て支援の充実について</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 未就学児家庭への支援制度の強化について</li><li>② 複数の子どもがいる家庭への更なる支援策の充実について</li><li>③ 共働き夫婦の課題解消への取り組みについて</li></ol> <p>III 雇用環境整備の取り組みについて</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① U・Iターン希望者への定住化支援策について</li><li>② 学生奨学金制度の無償化による若者定住化の推進について</li></ol>

	<p>③ 高齢者や若者の町内事業者への就業希望（パート、臨時雇用など）に対する支援策について</p>
<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 義務教育環境における現状と課題について (答 弁 者) 教育長</p> <p>町内小中学校環境の現状と課題について、以下伺います。</p> <p>① 今年度実施しているトイレ洋式化の進捗状況について</p> <p>② 各校のいじめ件数の実態と防止策の取り組み状況について</p> <p>③ スマホやテレビゲーム使用（やり過ぎ）の実態と防止策について</p> <p>④ 全国一斉テスト結果の全国・県平均値との比較と矢巾町の状況について</p> <p>⑤ 児童生徒の学力向上対策として取り組んでいる施策内容について</p> <p>⑥ 年末年始期間の学校一斉閉鎖の取り組みについて</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 町内公共交通網の整備方針について (答 弁 者) 町 長</p> <p>現在、町と議会で意見交換を実施して町内公共交通網の在り方を検討しています。試行・本格運用にあたり町民のニーズ把握をもっと行うべきと考え、以下伺います。</p> <p>① 「さわやか号」の運行継続、町内循環バス運行の導入、デマンド交通（タクシー）導入をした場合、町支出の年間経費試算額は、どの程度であると踏まえているか。</p> <p>② 町はアンケート調査を各年代層に行っているが、試行・本格運行に際しては、実際に利用する住民のニーズ把握を最重要視すべきと思うが、町の見解はどうか。</p> <p>③ 現状の町内公共交通網を考えた場合、自ら交通手段を確保できない住民（子供を含む）の移動手段確保を考える必要があると思うが、町の見解はどうか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. 5	平成30年8月24日	午前・午後 9 時25分
議席番号10番	山崎道夫	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 通称「盛岡西バイパス」延伸ルート決定に向けた本町の取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>今年の春、盛岡西バイパスの延伸について、国による調査費が決定したとの報道がされ、私たち矢巾町民は早期延伸に期待し、嬉しいニュースとなりました。今後、延伸ルートがどのようになるかによって、本町のまちづくりに大変大きな影響を及ぼすことになるとおられます。また、ルートによっては県道盛岡不動線の渋滞緩和や、都市計画道路の早期整備に結びつくことが期待できることから、以下について伺います。</p> <p>① ルート決定まで、町としてどこまでの範囲で関わることができるのか、また、町として関係機関等に対し、具体的な要望や、請願などの取り組みを行っているのか明らかにされたい。</p> <p>② 延伸ルートについて、今年度中に決定するものと思われるが、公表前に町に対し通知はあるのか。</p> <p>③ 本町の道の駅構想について、昨年12月会議で29年度中に基本計画を策定し、30年度中に事業計画の策定と候補地選定に向け、前向きに取り組んでいきたいと答弁していたが、ここに来て町長は「場所をどこにするかも含め、西バイパスのルートが決定してからになる」と話されています。</p>

	<p>現在、道の駅構想はどの程度まで検討されているのか、今後のスケジュールと併せて明らかにされたい。</p>
質問 2	<p>(質問事項) 小中学校の全教室に冷房設備の早期設置について</p> <p>(答 弁 者) 教育長</p> <p>近年、異常気象が続いていますが、今年の夏の猛暑は7月一杯と8月下旬から9月上旬の2回到来するとの予報が気象庁から出されてきました。</p> <p>その予報が的中し、岩手県内においても7月上旬から連日暑さが続き、8月に入って猛暑日が続くなど、暑さは一層厳しさを増しています。データによると盛岡の7月の日々の最高気温平均は、30年前より2度程度上昇したとのことであり、今後さらに暑さの度合いが厳しくなっていくことが予想されます。</p> <p>このような状況にあって、17年4月1日現在の県内における公立小中学校の冷房設置率は5.1% (全国平均 41.7%) と全国平均を大きく下回っており、学校現場は設備面を含めた児童生徒の熱中症対策や授業に集中できる環境づくり対策に大変苦慮しているのが実情です。</p> <p>将来の矢巾町を担い、日本の社会を担う児童生徒ができるだけ快適に学校生活を送り、勉学に集中できる環境整備を進めることが、今、強く求められていると思います。</p> <p>こうした観点から、以下について伺います。</p> <p>① まだまだ暑さが続くと思われるが、今年これまで熱中症等で体調不良を訴えた児童生徒はいるのか。</p> <p>② 各小中学校の冷房設置は、基本的に保健室のみとなっていると思われるが、そのほかに設置している会議室等はあるのか、あるとすれば学校毎に示されたい。</p> <p>③ 現在、各教室に2台ずつ扇風機が設置されているが、一方の設置となっており、風が届かない場所があるという声を聞くが、実態はどうか。</p>



	<p>④ 扇風機を1台増設した後、学校毎に教室の温度を計測・調査したデータはあるのか。</p> <p>⑤ 冷房設備を設置する場合、小中学校を合わせて教室の数はどのぐらいになるのか。また、1教室当たりの予算はどのぐらい必要になるのか。</p> <p>⑥ 扇風機の設置だけで、猛暑の続く夏を乗り切るには限界がきていると思われる。したがって今後、できるだけ早期に冷房設備の設置が必要であると考えているが、それに対する所感を伺う。</p>
<p>質問3</p>	<p>(質問事項) 自治公民館への冷房設備設置に向けた補助金交付事業の検討について (答弁者) 町長</p> <p>日本は世界に類を見ない少子高齢化の道を着実に歩んでいます。団塊の世代がもうすぐ75歳の後期高齢者となり、人口に占める高齢者の割合が4割を超える時代が、目の前に迫っています。</p> <p>本町の高齢化率は滝沢市に次いで県内では2番目に低い自治体ではありますが、それでも高齢者は確実に増えて来ていることは間違いありません。</p> <p>町長の良く使う言葉に人生100年時代というフレーズがありますが、その中で健康寿命を伸ばす取り組みをしっかりとやるのが、大切であると話されています。</p> <p>また、これからは、高齢者がいきいきとして暮らすために、それぞれの地域で居場所づくりを行うことが重要であると力説しています。同時に「高齢者が家の中だけで暮らしているのは、健康寿命を伸ばすには限界がある。これからはもっと地域の公民館を利用し、高齢者が集まって楽しく過ごせる場所にする工夫をし、一日そこに居れるような場所づくりをすることが大切である」とも話されています。</p> <p>近年、孤独死が問題になる時代ですので、地域の公民館を利用して高齢者が集い交流し、人生100年時代に向けて、健康寿命を伸ばすための取り組みをすることについては、大い</p>

に賛成しますが、1つだけ心配なことがあります。それは自治公民館の中で冷房を完備している公民館は、そんなに多くはないと思われますので、特に夏の利用が快適にできるのか心配になることから、以下伺います。

- ① 町内に36ある自治公民館施設の中で、冷房設備を完備している公民館はどの程度あるのか。
- ② 現在も自治公民館を利用して、おでんせ広場などの取り組みをしているが、限られた人達の利用となっていると思われる。できるだけ多くの高齢者が集える場所にするためにはかなりの工夫が必要だと思うが、そのためのノウハウ等を支援する体制をどのように構築していこうとしているのか明らかにされたい。
- ③ 今後一段と暑さが厳しくなることが予想される中、自治公民館を快適に利用できるようにするため、冷房設備未設置の公民館に対して、設置を推進するため町として補助金交付事業を検討するべきと思うが、それに対する所感を伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. 6	平成30年8月25日	午前・ <del>午後</del> 10時55分
議席番号14番	小川文子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 保育士の待遇改善について (答弁者) 町長</p> <p>保育士の待遇改善と併せ、豊かな保育環境による矢巾型保育を目指すべきと考えられることから、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 現在の待機児童の状況は。</li><li>② 保育士の奨学金返済に対して支援できないか。</li><li>③ 保育士に対し、月々1人1万円の助成ができないか。</li><li>④ 保育士への住居手当に取り組んではどうか。</li><li>⑤ 保育士の研修や、保育士間の交流はどのように図られているか。</li></ol>
質問2	<p>(質問事項) 町営住宅の改修について (答弁者) 町長</p> <p>町営住宅の老朽化による改築計画は本町の長年の重要課題であるが、それまでの間は改修を進めなくてはならないことから、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 町営住宅のすべての窓に網戸を設置できないか。</li><li>② 生活保護世帯への特別な支援として、網戸や風呂を設置できないか。</li><li>③ 三堤住宅の換気扇が経年劣化していることへの対策は。</li></ol>

<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 子どもの医療費助成18歳まで拡大を (答 弁 者) 町 長</p> <p>子どもの医療費助成について、県では来年度から窓口支払いのない現物給付の方向で調整を図っている。高校卒業、18歳までの医療費助成の条件が整ってきたことから、助成の拡大ができないか。</p>
<p>質問 4</p>	<p>(質問事項) デマンドタクシーについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>乗り合い型タクシーであるデマンドタクシーは、公共交通としての需要が高まっており、早期実現が求められることから、以下伺う。</p> <p>① デマンド交通の実施に向けて、現在の取り組み状況は。 ② 試験運転開始はいつか。 ③ 1回あたりの乗車料金は。 ④ 利用は登録制となるか。 ⑤ 町民への周知をどのように行う計画か。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. 7	平成30年8月24日	午前・ <del>午後</del> 11時20分
議席番号13番	川村よし子	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 介護保険制度について (答弁者) 町長</p> <p>介護保険法の第1条において、「加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び・・・国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする」としています。2000年4月から実施され基本的目的は変化がありませんが、保険料等の改定されるたびに国民負担が大きくなってきています。以下4点について伺います。</p> <p>① 高齢障がい者への介護保険優先についての状況はどう変化していると考えているか。</p> <p>② 第7期介護保険事業計画の策定後、「介護保険料が高く年金が少なくなっている。生活していくのが大変」「介護が必要になった時どのくらいお金がかかるか心配」等の声を聞きます。収入の少ない高齢者の保険料の見直しはできないか伺う。</p> <p>③ 第1期計画と比較し保険料基準額が2倍以上となっており、支払えない高齢者も年々増えていることをどう考えているか。</p> <p>④ 介護労働者の労働条件改善や地元定着については、どのように取り組んでいるのか。</p>

<p>質問 2</p>	<p>(質問事項) 国民健康保険税の引き下げについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>4月から市町村と都道府県が共同で運営制度となりました。新制度になっても国保税の額を決め、住民から税を集めることは、引き続き市町村の仕事です。県には、国保の財政管理を与え、各市町村の国保税の算定式や集め方、医療給付費の水準について指導・意見をいう権限が与えられた。具体的には給付金・標準保険税率・国保運営方針・保険者努力支援制度等の仕組みが導入されたが、以下4点伺います。</p> <p>① 過去10年間の国保税滞納状況は、どう変化しているか。</p> <p>② 厚生労働省では時限措置として保険税の激変緩和対策を開始したが、町の状況はどうか。</p> <p>③ 国保に加入している子育て世帯や一人親世帯、収入が生活保護基準前後の境界層世帯・貧困世帯にとって、保険税の納付が大きな負担となっていることをどう考えるのか。</p> <p>④ 前項で挙げた国保加入者の負担を軽減するため、一般会計からの法定外繰り入れを開始し、保険税の引き下げを行うべきと考えるがどうか。</p>
<p>質問 3</p>	<p>(質問事項) 農業について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>歴代政府は、米などの輸入自由化をすすめ、日本の食料自給率は38%と6割以上の食料を外国に依存する政策をとっている。さらにTTP11参加と食料自給率を引き下げる政策を開始した。輸入自由化と日本農業つぶしの政策では耕作放棄地の増加につながると思うことから、以下3点伺います。</p> <p>① 後継者対策や耕作放棄地対策を含め、本町の農業についてどう取り組んでいくのか。</p> <p>② 6次産業化をすすめ、農産物の価格保障、農家の所得向上・確保に力を注ぐことが求められるがどうか。</p> <p>③ 小中学校の学校給食を通じて、地産地消の大切さについてどのように学習しているのか。</p>

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

受付 No. 8	平成30年8月24日	午前・ <del>午後</del> 11時30分
議席番号 8番	藤原梅昭	

番号	質問要旨
質問1	<p>(質問事項) 「安全安心」なまちづくりについて (答弁者) 町長、教育長</p> <p>① 3・11東日本大震災から7年6カ月になるが、現在の被災者及び被災地支援状況と、今後の対応を伺う。</p> <p>② 原発事故による農産物等放射能風評被害対応及び生産者への支援状況は。</p> <p>③ 8・9の大雨災害を教訓にした、当町一級河川の災害対応進捗状況と、今後の対応計画は。</p> <p>④ 来年度からの煙山ダム改修工事計画及びため池対応は。</p> <p>⑤ 岩崎川改修工事で検出されたヒ素対応のための公園造成進捗及び今後の利用計画は。</p> <p>⑥ 自主防災組織の活動状況及び各福祉施設との連携は。</p> <p>⑦ 近年の自然災害は、地球温暖化が大きな要因と言われているが、対応状況と今後の計画及びプラゴミ対応は。</p> <p>⑧ 小中学校の防災教育状況は。</p> <p>⑨ 町内高校・短大・大学等との連携は。</p>

質問 2

(質問事項) 「農林業振興」について

(答 弁 者) 町長、農業委員会会長

- ① 戸別所得補償廃止、減反廃止での当町への影響と、将来の農業展望をどのように見ているか。
- ② 自給率向上対応は。
- ③ J Aとの連携状況は。
- ④ 農業者の減少と高齢化への対応策は。
- ⑤ スマート農業への対応状況は。
- ⑥ 法人化への取組状況及び各営農組織との連携対応は。
- ⑦ 観光農業として、菜の花・ひまわり・しいたけ・ソバ・大豆・ズッキーニ等を利用し、更に特産化への取組拡大を。
- ⑧ 地球温暖化対策としても重要な、林業再生への対応状況及び来年度からの森林環境譲与税への対応は。
- ⑨ 新農業委員会制度の中での、農地集積の取組状況は。